

## 平成29年度組織目標の達成状況(課室目標)

所属名:農政水産部畜産課

No.	目標項目	達成時期・目標値・状態	達成状況	成果と課題	今後の対応 (達成状況が△、×の場合)
1	近江牛を核とした魅力ある滋賀づくりの推進	<p>○生産基盤の強化 平成29年10月から、乳用牛への和牛胚移植を開始する。</p> <p>○ブランド力の磨き上げ 平成29年10月までに、地理的表示保護制度への登録を申請する。</p> <p>○魅力発信 平成30年3月までに、首都圏での近江牛の認知度向上を図る。</p>	○	<p>おためし事業も含め平成29年9月から和牛胚移植を開始した。乳用牛をとりまく情勢の変化に対応するため、さらなる酪農生産基盤の強化が必要。</p> <p>平成29年7月20日付けで(一社)滋賀県畜産振興協会から申請を行い、同年12月15日付けで登録された。今後は、さらなるブランド力向上につなげる仕組みづくりと、PR・情報発信が必要。</p> <p>ラッピングバスの運行や「ここ滋賀」でのPR等により首都圏での認知度向上に努めた。</p>	
2	酪農生産基盤の強化	○平成30年3月までに、飼養管理、繁殖管理、搾乳衛生等、牛群のもつ能力を最大限に発揮できるよう、生産性の向上を図る。	△	初妊牛価格の高騰や生産費の上昇など酪農をとりまく情勢は厳しさを増していることから、引き続き、生産基盤強化につなげる取組が必要。	乳用後継牛の確保や生産性向上の取組を支援するとともに、JAや農業共済組合等の関係団体との連携による酪農技術指導力の強化を図る。
3	家畜防疫に係る危機管理体制の充実強化	○平成30年3月までに、家畜防疫の危機管理体制をさらに充実強化するとともに、全庁的な防疫意識の高揚を図る。	○	県域および地域単位での防疫演習を実施するとともに、参加者へのアンケート調査とその検証会議等で情報を共有することにより、危機管理体制のさらなる充実と全庁的な防疫意識の高揚が図れた。	

4	滋賀食肉センターの経営改善	<p>○平成29年内に(株)滋賀食肉市場の経営改善計画を策定し、策定済の(公財)滋賀食肉公社の経営改善計画とあわせ、各計画に基づく取組の支援を進める。</p> <p>○平成29年度前半に滋賀食肉センター経営評価委員会を設置し、外部委員による経営改善状況の評価検証を行う。</p>	△	<p>平成29年3月に策定した公社の経営健全化計画に基づく取組の支援を進めた。今後も市場の経営改善計画策定に向け、さらなる指導助言が必要。</p> <p>平成30年2月8日と2月28日に経営評価会議を開催し、外部の有識者による取組状況の評価を行った。</p>	<p>経営評価会議における意見等を踏まえ、引き続き、県として二法人の自主的な経営改善への取組を支援するとともに、増頭対策および消費拡大対策を進める。</p>
---	---------------	---	---	---	--

※「達成状況」の欄は、年度末の目標の達成について、

◎ 目標を超えて達成（100%超）、○ 目標どおり達成（100%）、

△ 目標の半ば以上の実績（50%以上）、× 目標の半ば以下の実績（50%未満）

に分類して記入してください。なお、記載にあたり、カッコ書きの数値により難しい場合は、この数値を参考としながら、各目標の内容に応じて行ってください。